



- ① 流域歴史ロバダン
- ② 資料整備ロバダン1
- ③ 資料整備ロバダン2
- ④ 環境ソアーロバダン1
- ⑤ 流域資源活用ロバダン1
- ⑥ 新潟水俣病ロバダン
- ⑦ 水環境学習ロバダン1
- ⑧ 水環境学習ロバダン2
- ⑨ 環境ソアーロバダン2
- ⑩ 流域産業ロバダン
- ⑪ 流域交流ロバダン1
- ⑫ 水環境学習ロバダン3
- ⑬ 新潟水俣病学習ロバダン
- ⑭ 流域交流ロバダン2
- ⑮ 水環境学習ロバダン4
- ⑯ 水環境学習ロバダン5
- ⑰ 流域環境ロバダン
- ⑱ 流域資源活用ロバダン2
- ⑲ 環境ソアーロバダン3
- ⑳ 資料整備ロバダン3

- ① 流域環境学習ロバダン1
- ② 流域環境学習ロバダン2
- ③ 流域環境学習ロバダン3
- ④ 流域鉱山ロバダン1
- ⑤ 流域鉱山ロバダン2
- ⑥ 流域産業ロバダン1
- ⑦ 流域産業ロバダン2
- ⑧ 流域環境学習ロバダン4
- ⑨ 流域産業ロバダン3
- ⑩ 流域産業ロバダン4
- ⑪ 流域撮影ロバダン1
- ⑫ 流域撮影ロバダン2
- ⑬ 流域撮影ロバダン3
- ⑭ 流域アートロバダン
- ⑮ 流域産業ロバダン5
- ⑯ 流域環境学習ロバダン6
- ⑰ 流域環境学習ロバダン7
- ⑱ 流域環境学習ロバダン8
- ⑲ 流域環境学習ロバダン9
- ⑳ 流域環境学習ロバダン10

(※ロバダンの番号は開催順です)

**夏休みこども工作
リサイクル再来**

開催日 8月5日(土)、6日(日)、11日(金・祝)、12日(土)、19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)

時間 1日2回 午前10:00～午後2:00～
ふれあい館にて開催 参加無料 各回18名

参加方法 事前のお申し込みが必要
下記電話か直接窓口へお申し込みください。
ホームページ ホームページ QRコード ツイッター QRコード

2023年工作カレンダー

- 5月27日 ウキウキラッコちゃん 水にういたり、カンカン音がなるよ!
- 6月26日 クネクネスネーク おあきなへひがクネクネ!
- 11月19日 貝がら風鈴(ふうりん) すずしい音がきこえるよ!
- 12月20日 水の万華鏡(まくわきょう) どんなもようがみえるかな?

※都合により一部変更または中止する場合がありますのでご了承下さい。最新の情報はホームページでお知らせします。
なお、危険防止のため、未就学児は保護者と一緒に参加をお願いします。また、体調がすぐれない方のご来館はお控えください。



新潟県立環境と人間のふれあい館
-新潟水俣病資料館-

住所 新潟市北区前新田字新々田乙 364-7
TEL 025-387-1450 / FAX 025-387-1451
メール fureai@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ URL <http://www.fureaikan.net/>



令和4年度 阿賀野川流域 ロバダン!マップ

「ロバダン!(炉端談義)」の開催状況(令和4年4月～令和5年3月)が一目でわかるマップ。
令和4年度はFM事業&阿賀野川エコミュージアムを合わせて、40件開催しました。

- … 阿賀野川 えとこだ で開催した
- … 阿賀野川 エコ で開催した

阿賀野川 えとこだ × 阿賀野川 エコ
阿賀野川エコミュージアムを目指す
流域再生フォーラム(第11回)

写真と映像で振り返る 阿賀野川・光と影の スポット巡り

3/21(火・祝)
2023
14:00～16:00

開催しました!

開催レポートをお届けします!
当日参加者25名(※7月末現在YouTube視聴数100回以上)

主催 ●新潟県 後援 ●新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町 企画・運営 ● [あがのがわ環境学会](#)

阿賀野川の上流から下流までの各スポットを
さまざまな写真や映像で振り返りました!

これまでFM事業で撮影されたさまざまな写真や映像に加え、阿賀町の写真家・山口冬人さんが撮影した美しい写真の数々を撮影しながら、阿賀野川の光と影にまつわるスポットを上流から下流へと下つていきました。山口さんは熱のこもった解説を聞きながら、膨大な写真や映像を眺めていますが、中流域に差しかかった地点で惜しくもタイムアップ。残りの中下流域は後日、後編として特別に動画配信しました。



YouTubeで視聴できます!

- ◀ 前編(阿賀野川上流域) ▶
<https://youtube.com/live/bWjOqQLbzPE>
- ▼ 後編(阿賀野川中～下流域) ▶
<https://youtu.be/N9D2ZqhdQR4>

山口冬人さんとともに
阿賀町の写真家。

一般社団法人
あがのがわ環境学会

参加された皆さんのご意見・ご感想

- 山口冬人さんの抒情的な写真、山崎さんの鋭角的な語りと楽しませていただいた(五泉市・50代)
- 数多くのスライド写真と説明を聞いて、歴史を感じながら勉強になった(新潟市北区・60代)
- 「ハーモニカ長屋」に住んでいた知人の話を懐かしく思った。私も幼少期、福島潟の魚を囲炉裏で焼いて食べていた年代、阿賀流域で魚を食べていた方々の心労が解決できるように願います(新潟市北区・70代)
- 様々な活動に参加することで、阿賀野川 = 新潟水俣病について再考することが大切と考える(新潟市中央区・60代)
- 新潟水俣病を「公害」、「被害者と加害者」という面からだけで扱わず、阿賀野川や山が人々の生活を支えた宝であったことを広い視点から検証したり学んだりする意義は大きいと思う。守っていく意識に繋がると感じる(阿賀野市・70代)